

SJクイズ

[問題編]



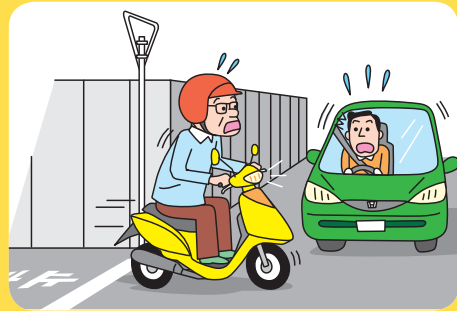
Q1

原付一種（50cc以下）の交通事故死者数（平成15～24年累計）を年齢層別にみると、最も多い年齢層は次のうちどれでしょう？

- ① 16～24歳 ② 55～64歳 ③ 65～74歳 ④ 75歳以上

Q2

原付一種の交通事故死者数（平成15～24年累計）を事故類型別にみると、出会い頭事故が最も多く全体の43.8%ですが、このうち高齢者（65歳以上）が占める割合は次のうちどれでしょう？



- ① 約35% ② 約45% ③ 約55% ④ 約65%

Q3

原付一種のヘルメット着用・非着用別の死者割合（平成15～24年累計）をみると、65歳以上の高齢者では非着用の死者割合は着用（ヘルメット離脱なし）の約何倍になっているでしょう？

- ① 約2倍 ② 約3倍 ③ 約5倍 ④ 約7倍

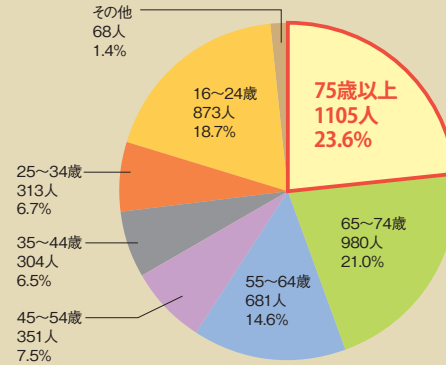
【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03(5412)1736

Q 1 解答 ④ 75歳以上

<解説>

原付一種（50cc以下）の交通事故死者数（平成15～24年累計）を年齢層別にみると、75歳以上が23.6%と最も多い。65～74歳も21.0%で、高齢者（65歳以上）は全体の約半数を占めている。また、高齢者の死者数は若年層に比べると減少率は小さくなっている。事故を防止するためには、高齢になればなるほど自分の身体機能の低下を理解し、スピードを控えたり、安全確認を慎重に行うなど、身体機能の変化に対応するための運転を実践する必要がある。



●原付一種の年齢層別交通事故死者数（平成15～24年累計）

Q 2 解答 ③約55%

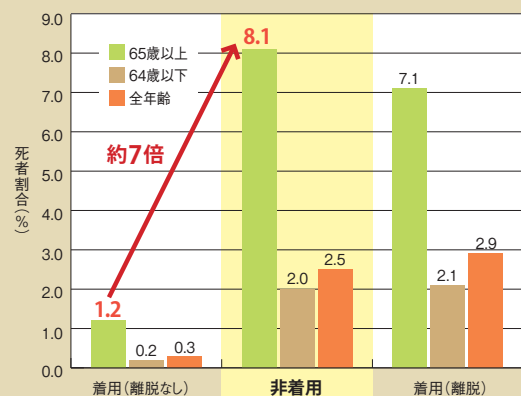
<解説>

原付一種の交通事故死者数（平成15～24年累計）を事故類型別にみると、出会い頭事故が最も多く全体の43.8%で、このうち高齢者は54.8%を占めている。一方、車両相互の右折時衝突や正面衝突、追突では64歳以下に比べて死者数は少ない。高齢者は、特に交差点での出会い頭事故に注意する必要がある。出会い頭事故による原付一種の死者数を人的事故要因別にみると、安全不確認が最も多い。また、法令違反別にみると、一時不停止等が最も多く、このうち約6割は高齢者である。出会い頭事故に遭わないためにも、一時停止の標識のある交差点では、必ず止まって左右の安全確認をしっかりとしてから交差点に進入することはもちろん、一時停止の標識がない交差点でも、減速して左右の安全確認をすることが事故防止につながる。

Q 3 解答 ④約7倍

<解説>

原付一種のヘルメット着用・非着用別の死者割合（平成15～24年累計）を年齢層別にみると、高齢者（65歳以上）の非着用の死者割合が一番高く、着用しヘルメットの離脱もない時に比べ7倍近く高くなっている。また、高齢者は非着用や着用していたがヘルメットが離脱した時の死者割合が64歳以下に比べ高い。高齢者は万一の際、ヘルメットを正しく着用していないと、死亡事故につながりやすいといえる。ヘルメットの着用はもちろんだが、事故に遭った時にヘルメットが離脱しないように、あごひもをしっかり締めてほしい。



●ヘルメット着用・非着用別の原付一種年齢層別の死者割合（平成15～24年累計）
死者割合＝死者数／死傷者数×100（%）

※文中のデータ、グラフの出典は「イタルダイナフォメーション No.102」

【使用上の注意】

●営利目的での利用はおやめください ●内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください ●その他、使用に関するご質問はお問い合わせください
本田技研工業（株）安全運転普及本部 TEL:03 (5412) 1736